



エコ粘土工作



一日司書体験



『おはなしぼけっと』は、毎月第4土曜日に市立図書館を会場に、絵本の読み聞かせや紙芝居のほか、人形劇、パネルシアターなどを催しています。

『読書の時間』についての 幌別小学校児童の声

(平成13年度実施『読書の時間』についてのアンケートより抜粋)

心を落ち着かせることができる
気持ちを作って、勉強に向かえる
いろいろなことを考えさせてくれる
たくさん読めるようになった
自分から本を読みたくなった
本が友だちになったような気がする
すらすら読めるようになった
漢字がわかるようになった
登場人物の気持ちをいろいろと考えられるようになった
想像力が豊かになった
使える言葉が増えた
自分の意見が言えたり、人の考えが聞けるようになった



利用案内

市立図書館
中央町5丁目21番地1
(☎854324)
ホームページアドレス
<http://library.city.noboribetsu.hokkaido.jp>

【休館日】
毎週月曜日
国民の祝日(ただし、月曜日に当たるときは、その翌日)
図書整理日(月の最終金曜日)
特別整理月間(7月中の7日間)

【開館時間】
火曜日～日曜日 10時～18時

「図書館という本や資料を蓄えて貸し出すというイメージを持たれている方が多いのではないのでしょうか。実際は、生涯学習に関

もっと、市立図書館を利用しましょう

「『読書の時間』は、多くの子どもたちに好評のようです。読書で心を落ち着かせて授業に入ることができそうです。想像する力、伝える力、そしゃくする力をはぐくむことにもつながります。子どもたちには、たくさん本に出会い、さまざまな生き方に触れて、考え方の幅を広げてほしいですね」



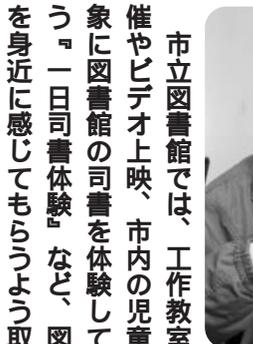
熊谷いづみさん

題図書などを押し付けたり、感想文などを書かせることはしません。自分の好きな本を自ら探し、自分の力で読めるものを楽しく読むことが大切ですね。さまざまな学校行事がありますが、ほとんど中止することなく、児童と教員が一緒に朝の読書を続けています」と読書の取り組みを説明してくれたのは、幌別小学校の教諭で文化部を担当する熊谷いづみさんです。

あなたも市民リポーターになって、市内の話題やまちの動きなどをリポートしてみませんか。平成16年度市民リポーターについての申し込み・問い合わせは情報推進課(広報広聴)(☎856586)まで。

「図書館という本や資料を蓄えて貸し出すというイメージを持たれている方が多いのではないのでしょうか。実際は、生涯学習に関

「『読書の時間』は、多くの子どもたちに好評のようです。読書で心を落ち着かせて授業に入ることができそうです。想像する力、伝える力、そしゃくする力をはぐくむことにもつながります。子どもたちには、たくさん本に出会い、さまざまな生き方に触れて、考え方の幅を広げてほしいですね」



清野 良憲さん

「『読書の時間』は、多くの子どもたちに好評のようです。読書で心を落ち着かせて授業に入ることができそうです。想像する力、伝える力、そしゃくする力をはぐくむことにもつながります。子どもたちには、たくさん本に出会い、さまざまな生き方に触れて、考え方の幅を広げてほしいですね」

「『読書の時間』は、多くの子どもたちに好評のようです。読書で心を落ち着かせて授業に入ることができそうです。想像する力、伝える力、そしゃくする力をはぐくむことにもつながります。子どもたちには、たくさん本に出会い、さまざまな生き方に触れて、考え方の幅を広げてほしいですね」

「『読書の時間』は、多くの子どもたちに好評のようです。読書で心を落ち着かせて授業に入ることができそうです。想像する力、伝える力、そしゃくする力をはぐくむことにもつながります。子どもたちには、たくさん本に出会い、さまざまな生き方に触れて、考え方の幅を広げてほしいですね」

「『読書の時間』は、多くの子どもたちに好評のようです。読書で心を落ち着かせて授業に入ることができそうです。想像する力、伝える力、そしゃくする力をはぐくむことにもつながります。子どもたちには、たくさん本に出会い、さまざまな生き方に触れて、考え方の幅を広げてほしいですね」

「『読書の時間』は、多くの子どもたちに好評のようです。読書で心を落ち着かせて授業に入ることができそうです。想像する力、伝える力、そしゃくする力をはぐくむことにもつながります。子どもたちには、たくさん本に出会い、さまざまな生き方に触れて、考え方の幅を広げてほしいですね」